

資 料

いこいの村ひろしま及び隣接する施設の利活用 サウディング



令和3年 7月



広島県 安芸太田町

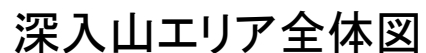
1

安芸太田町の概要

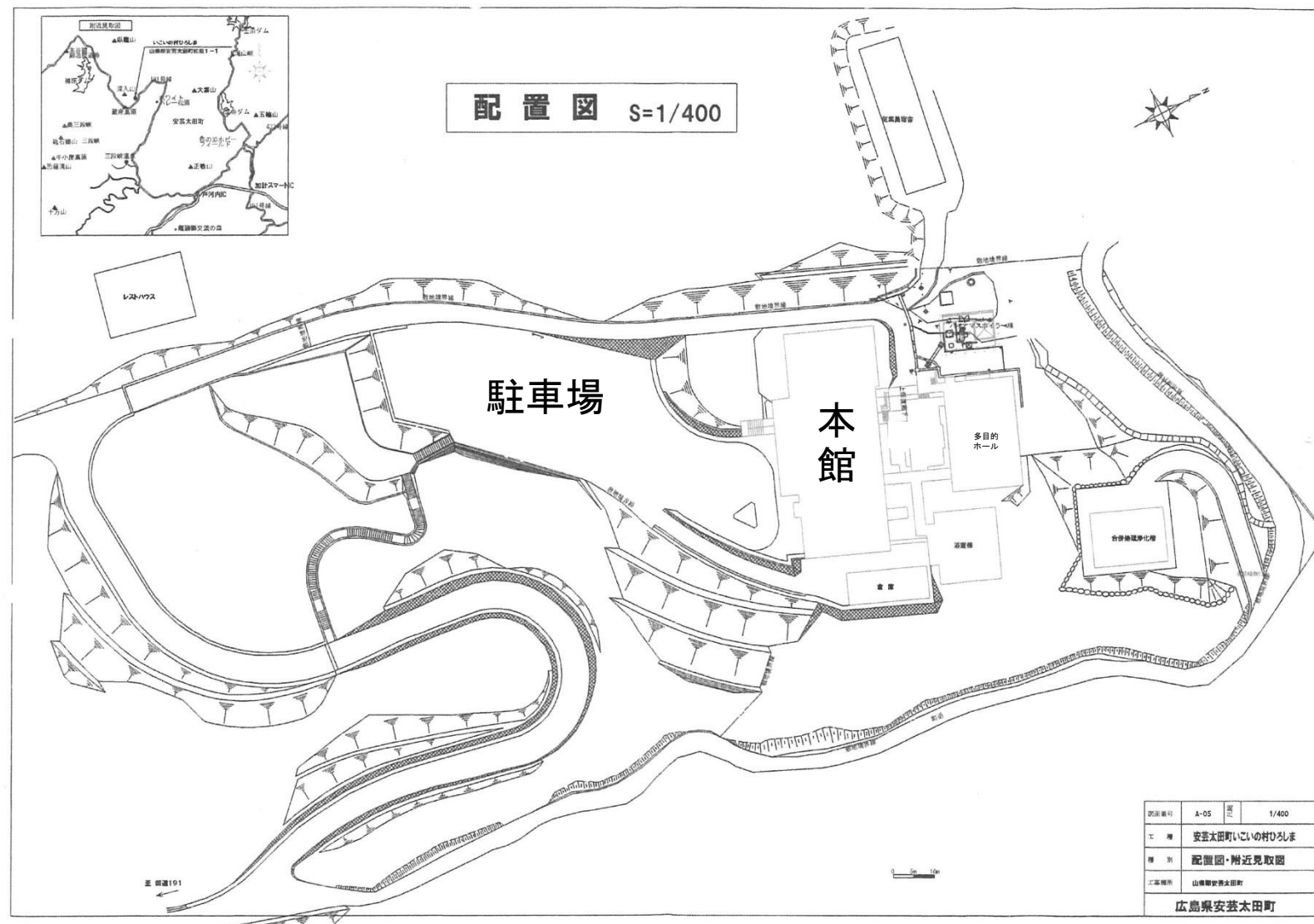
- ・人口(令和3年5月末現在) 5,935人
- ・高齢化率 51.54%
※ 広島県で最も「人口」が少なく、「高齢化率」が高い町
- ・面積 341.89km²
- ・歴史 平成16年(2004年)10月1日に加計町、筒賀村および戸河内町の三町村が合併し、安芸太田町が発足。
- ・町のキャッチフレーズ 「西中国山地に抱かれた 暮らし・交流・元気のまち」
- ・主な観光名所 特別名勝三段峡
日本の棚田百選 井仁の棚田
アーチ式ダム国内2位の高さ 温井ダム
- ・主要ICからの距離 広島IC ⇒ 戸河内IC 42km



深入山周辺マップ



いこいの村ひろしま概要



(施設概要)

●所在地 広島県山県郡安芸太田町大字松原1-1

●構造 鉄筋コンクリート造瓦葺5階建
 3階・・・客室301～312
 2階・・・客室201～215
 1階・・・レストラン、宴会場
 地下1階・・・ロビー、研修室、大浴場
 地下2階・・・ボイラー室

●床面積 4,838.74㎡

●客室/全 27室
 和洋室・ツイン(バス・トイレ付)1室
 4ベッド(バス・トイレ付)1室
 和室・ツイン
 (バス・トイレ付、身障者対応)1室
 和室(バス・トイレ付)6室
 和室(トイレ付)18室

●宿泊定員/119名

図面番号	A-05	図	1/400
工 場	安芸太田町いこいの村ひろしま		
種 別	配置図・附近見取図		
工事種別	山県郡安芸太田町		
広島県安芸太田町			



4

施設写真(いこいの村ひろしま)



建物外観



客室



レストラン



大浴場



宴会場



ホール



リラックスルーム

深入山グリーンシャワー概要



(施設概要)

●所在地 広島県山県郡安芸太田町大字松原1-1

①管理棟

- 構造 木造平屋建カラーコロニアル葺き
- 床面積 213.02㎡
- 施設 便所(男:大2、小4、女:大5、身障者1)

②山村生活体験施設

- 床面積

③グラウンドゴルフ

- 協会公認コース 3コース×8ホール

④ピクニック広場

- 10サイト 全体面積1,300㎡
- サニタリーハウス 床面積43.63㎡
- 施設 便所(男:大1、小2、女:大2)

⑤芝生広場

- 面積 700㎡

⑥多目的広場

- 面積 16,750㎡

⑦駐車場

- 駐車台数 80台

6

施設写真(深入山グリーンシャワー)



施設全景



山焼き風景



管理棟



生活体験施設



グラウンドゴルフ



キャンプサイト

深入山エリアの現状①

・入込観光客数の低迷

安芸太田町総観光客数の推移

全体

単位:千人

安芸太田町	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年
温井ダム	438	399	381	367	331	292	293	272	254	83	92	103	110	128	121	119	120	134
三段峡						121	138	129	145	134	130	121	140	148	151	140	128	136
深入山						111	106	93	82	82	83	79	81	76	81	75	63	55
恐羅漢山						61	89	87	90	86	90	90	97	83	57	75	67	64
その他						122	124	122	116	101	104	112	133	158	188	178	199	200
計			811	835	816	707	750	703	687	486	499	505	561	593	598	587	577	589

※温井ダムは、平成23年から入込観光客数の集計方法が変わったことによる大きな数値変動がある。

深入山エリアの入込観光客数 平成19年111千人 ⇒ 令和元年55千人 50%減少

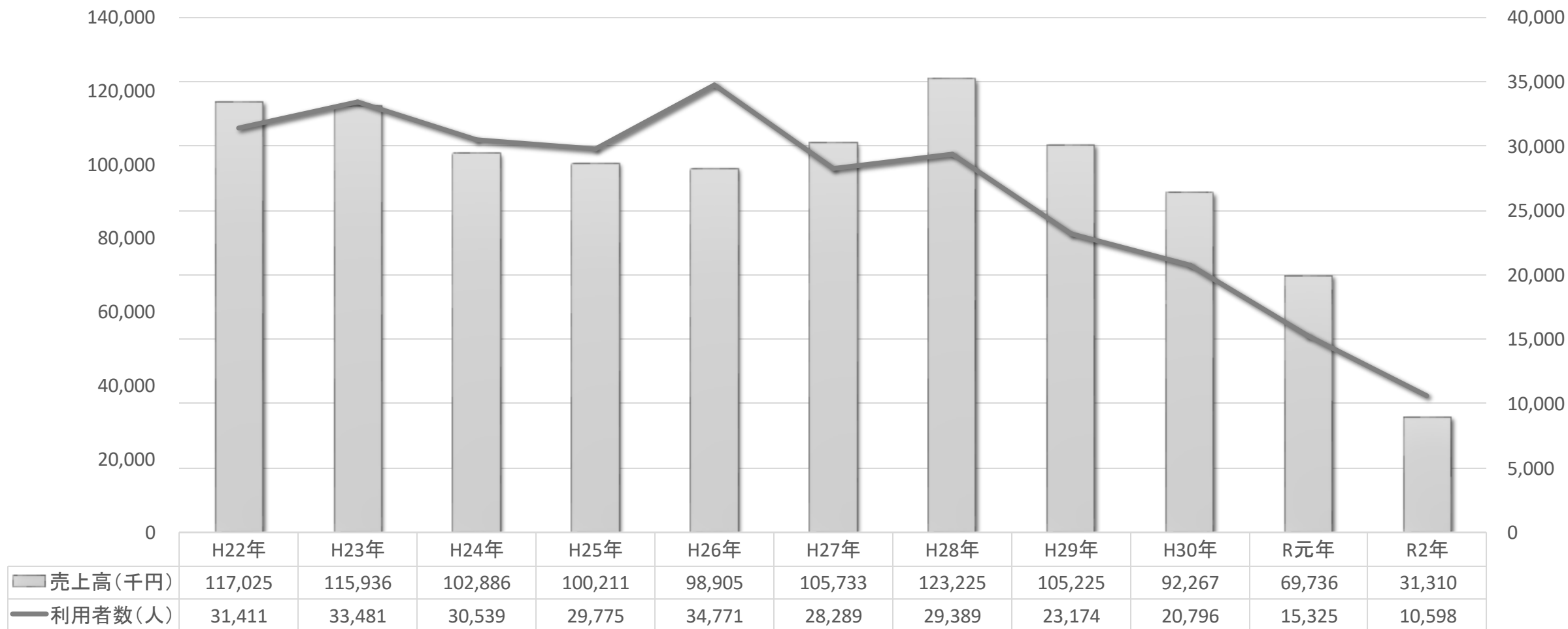


・いこいの村ひろしま 施設運営者の状況

- ・昭和52年 旧労働省の外郭団体・雇用促進事業団が建設。広島県と広島市、旧戸河内町で構成する「広島勤労福祉事業団」が運営。
- ・平成15年 建物施設を旧戸河内町が譲り受ける。
- ・平成26年 「広島勤労福祉事業団」から広島県、広島市が離脱。
- ・平成27年 「広島勤労福祉事業団」がいこいの村ひろしま運営撤退を決定。
平成28年度から平成30年度の3年間による指定管理者を公募(指定管理料0円)
- ・平成28年 瑞穂商事(島根県邑南町)が3年間の指定管理者として運営を開始。
- ・令和元年 瑞穂商事が指定管理者から撤退。
地域商社あきおおたを指定管理者に指定。
- ・令和2年 公募によりクラフトコーポレーションを令和3年3月末までの指定管理者に指定。
1年間運営しながら浴室等の改修工事をコロナ禍の春から7月まで実施。
7月11日にリニューアルオープンし、現在に至る。

深入山エリアの現状③

・いこいの村ひろしま 施設売上の減少



1. 西中国山地国定公園という立地条件

- ・ 国定公園であるため、自然公園法に基づく開発行為への制限がある。
- ・ 草刈りや清掃範囲の広さから、指定管理者など受託社への負担が大きい。
- ・ (国定公園内にあるという)施設の特徴・ポテンシャルを生かしきれていない。

2. 施設の劣化とニーズ変化

- ・ いこいの村ひろしまは築43年が経過。給排水や電気設備を中心に経年劣化が進み、入浴施設は改修したものの、修繕費用は増加する傾向にある。
- ・ 深入山グリーンシャワーは、コロナ禍でキャンプサイトに利用が増加したが、ニーズはオートキャンプ型(電気完備)で、再整備の必要がある。
- ・ 町唯一の認定コースがあるグラウンドゴルフは利用者の高齢化により利用者の減少傾向がある。

3. 周辺施設との共存

- ・ 国道191号線の通過台数の減少(高速道で浜田方面移動)
- ・ 三段峡、恐羅漢、北広島町芸北エリアとの連携

サウンディングにあたり

- 多くの中山間地域と同様、我が町も、少子高齢化による過疎化の影響で、人口減少（とりわけ労働力人口）と財政状況の悪化に見舞われている。
- 他方、本町は豊かな自然に恵まれ、様々な観光スポットを有していることから、戸河内IC周辺の道の駅再整備事業を進めるなど、観光産業による地域活性化を図っていきたいと考えているところ。
- 当該施設を含む深入山周辺地域は、特別名勝三段峡を含む西中国山地国定公園エリアとして、本町の重要な観光スポットの一つであり、当該地域の活性化も図りたいところではあるが、町主導での事業展開には、資金力、ノウハウの点で限界がある。



- 町として必要な環境整備には汗をかくつもりですので「町の財政負担が少ない形」で、民間の視点で「施設がより有効活用できる方法」について、ご意見をお聞かせください。